

# 前回会議でのご意見等に基づく新庁舎の立地パターンについて

## A：東側勾当台公園への立地（勾当台公園「いこいのゾーン」）

◎概要：新庁舎整備を勾当台公園の再整備と関連付け、都市計画変更、国有地取得、保存樹林変更等の必要な手続きを行い新庁舎を整備

### 【災害対応・危機管理の観点】

- 必要な手続きや保存樹林の仮移植等に時間がかかり、早期の災害対策機能の強化が困難な他、現本庁舎の耐用限界を超過する可能性がある
- 新庁舎建設及び代替公園整備の完了まで、地域避難場所の面積が減少するため、工期内に大規模災害が発生した際の地域住民等の避難に課題がある

### 【まちづくり（賑わい・協働）の観点】

- 長期的には、現本庁舎付近に代替公園を整備し、これを魅力的なものとなれば、賑わいの向上等のまちづくりに対するメリットを生む可能性がある
- 短期的には、少なくとも5年程度はイベント等の開催に制約が出るため、地区の賑わい維持に課題がある
- 一番町から北に市庁舎を見渡すことはできない

### 【利便性・環境配慮の観点】

- 勾当台公園駅や商店街に多少近くなり、地下接続のバリエーションも増える
- 保存樹林は仮移植を経た後で代替公園への移植を図るが、枯死等のリスクは残る

### 【その他】

- 物理的な制約が少ないため、建築プランのバリエーションが多い



## B：市民広場付近への立地（勾当台公園「にぎわいのゾーン」）

◎概要：新庁舎整備を市民広場（勾当台公園内）の再整備と関連付け、都市計画変更（公園及び駐車場）、市道廃止等の必要な手続きを行い新庁舎を整備

### 【災害対応・危機管理の観点】

- 必要な手続きや勾当台公園地下駐車場の解体に時間がかかり、早期の災害対策機能の強化が困難な他、現本庁舎の耐用限界を超過する可能性がある
- 新庁舎建設及び代替市民広場整備の完了まで、地域避難場所の面積が減少するため、工期内に大規模災害が発生した際の地域住民等の避難に課題がある

### 【まちづくり（賑わい・協働）の観点】

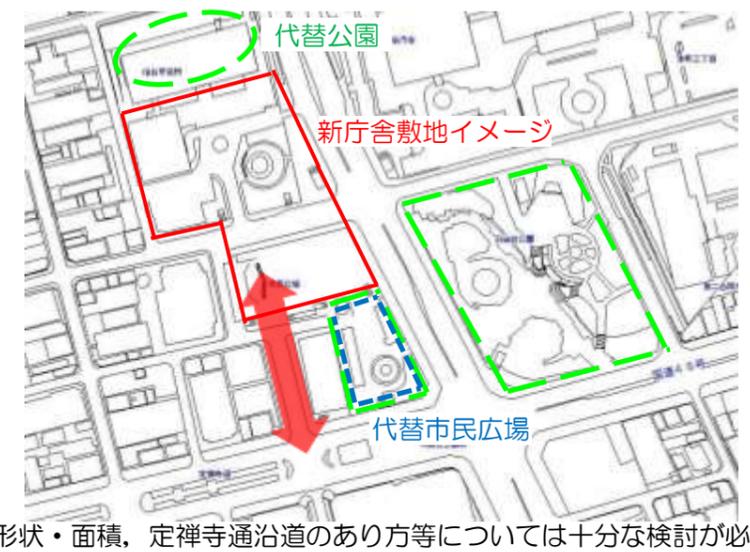
- 長期的には、庁舎・市民広場・定禅寺通で相乗効果を発揮し、賑わいの向上等のまちづくりに対するメリットを生む可能性がある
- 短期的には、少なくとも5年程度はイベント等の開催に制約が出るため、地区の賑わい維持に課題がある
- これまでと変わらず、一番町から北に市庁舎を見通すことが可能

### 【利便性・環境配慮の観点】

- 勾当台公園駅や商店街に多少近くなり、地下接続のバリエーションも増える
- 保存樹林に対する影響はないものと見込まれる

### 【その他】

- 右図のように公園区域が分かれる場合もあるため、代替公園や市民広場の位置・形状・面積、定禅寺通沿道のあり方等については十分な検討が必要



## C：現本庁舎敷地内への立地

◎概要：最終的な庁舎・市民広場・定禅寺通の相乗効果発揮を念頭に置きつつ、時間的制約のある本庁舎の建て替えは早期進捗が可能な現本庁舎敷地内で行い、同制約のない市民広場・定禅寺通の再整備は今後の十分な検討を踏まえて実施

### 【災害対応・危機管理の観点】

- 新庁舎建設に都市計画変更等が不要となり、災害対策機能の早期強化が可能な他、現本庁舎の耐用限界の超過リスクが低い
- 地域避難場所に対する影響はないものと見込まれる

### 【まちづくり（賑わい・協働）の観点】

- 新庁舎建設によるまちづくりへの効果は限定的  
（長期的には、庁舎・市民広場・定禅寺通の相乗効果発揮に向け、市道や勾当台地下駐車場等の取り扱いを含めた望ましいあり方を検討）
- 新庁舎建設工事によるイベント等開催への制約はないものと見込まれる
- 先に建設する新庁舎に広場を付設することで、将来の市民広場の再整備等に伴う使用不能期間の機能代替が可能
- これまでと変わらず、一番町から北に市庁舎を見通すことが可能

### 【利便性・環境配慮の観点】

- 勾当台公園駅や商店街に多少近くなるが、他案よりは距離が残る（地下接続は可能と見込まれる）
- 保存樹林に対する影響はないものと見込まれる

### 【その他】

- 現本庁舎高層棟南側への配置となり、工事が可能だが窮屈感はある

